

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	気球搭載型エマルジョン望遠鏡による宇宙ガンマ線未解決課題の解明
研究代表者	青木 茂樹 (神戸大学・人間発達環境学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者らの発案によるタイムスタンプ法により、エマルジョン望遠鏡が実現した。これによりこれまでより1桁広い面積、数分の1の高角度分解能を持つ検出器が可能となった。本研究は、それを気球に搭載し、銀河中心などのガンマ線測定を高精度で行うものである。現在、問題となっている銀河中心付近に広がったガンマ線が、ダークマター由来なのか、点源の重ね合わせからなのかなど、質の違う新しい情報をもたらす可能性がある。応募者らは、これまで地上実験や2回の気球フライトを行い、徐々に、技術的蓄積を行ってきた。</p> <p>本研究は、日本でしかできない独自の方法でもあり、基盤研究（S）として推進することが適当であると判断した。</p>